

令和4年度当初予算の概要

岐阜県 池田町



池田町フスコットキャラクター
ちやちやまる

1. 当初予算規模

当初予算額

	令和4年度	令和3年度
一般会計	94億50百万円	88億23百万円 (対前年 7.1%増)
特別会計	38億96百万円	39億 5百万円 (対前年 0.3%減)
計	133億46百万円	127億28百万円 (対前年 4.9%増)

* 令和4年度当初予算の概要(計数編)11・12・13 ページ参照

一般会計当初予算額は、94億5,000万円で、前年度と比べて6億2,700万円(7.1%)の増額となります。

また、特別会計(上水道除く)を含む全会計当初予算総額は、133億4,600万円で前年度比6億1,800万円(4.9%)の増額となります。

増額となった要因としては、新型コロナウイルスワクチン接種事業や庁舎受変電設備及び空調設備改修工事事業、池田公園芝生化整備事業などによるものです。

歳入については、町税では新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限の緩和、製造業の生産回復を受けて事業所得、給与所得の増により町民税個人分の増加が見込まれ、町税全体としては1,950万円の増額となっています。また、地方交付税では臨時財政対策債振替相当額算出額の減に伴い1億5,000万円の増額、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金などの増により国庫支出金では9,650万円の増額となっています。なお、寄附金のふるさと納税については1億円、繰入金ではふるさと支援まちづくり基金繰入金で4,000万円の増額を見込んでいます。

歳出については、庁舎受変電設備及び空調設備改修工事や池田公園芝生化整備工事、緊急浚渫推進事業などの増により工事請負費は4億7,811万円の増額、正職員数の減(190人→188人)の一方、消防団出動報酬やワクチン接種業務超過勤務手当の増などにより人件費は9,276万円の増額、住宅用再生可能エネルギー設備設置補助金や養老線管理機構負担金の増加などにより負担金補助及び交付金は444万円の増額となっています。その一方で、福祉医療費、児童手当支給の減により扶助費は4,466万円の減額、前年度に購入した小型動力ポンプ積載車などの減により備品購入費は2,266万円の減額となっています。

2. 令和4年度の施策方針

新型コロナウイルス感染症の克服は、今なお喫緊の課題であります。ワクチンの追加接種を迅速確実に進めるとともに、感染拡大防止の更なる強化を進め、あらゆる事態に柔軟かつ的確に対応してまいります。その上で、地域経済の回復のため、令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を最重要施策と捉え、感染防止対策、地域経済の活性化を図るため、これまでの取り組みを検証し、国・県の政策や関係団体などとも連携しながら、ワクチン接種体制の強化、ポストコロナに向けデジタル技術の活用やカーボンニュートラルの推進を図るなど、時勢を捉え、切れ目のない事業を進めます。

一方、本町においても人口減少、少子高齢化が深刻化しており、それに付随して町の機能低下が懸念されています。また、人口の減少は、町の活力を失うことにも繋がりがねません。そのため、今後は人口が減少しても、まちの機能を維持し、活力を損なわない、持続可能な地域社会を構築することが求められます。

令和4年度は、池田町第六次総合計画に位置付けた町の将来像「ぬくもりがあふれるまち 池田町 ～ふれあいが未来を育む、人と人がつながり合い成長する都市へ～」の実現に向けた3年目の年になります。厳しい財政状況の中、長期的な視点を持ちつつ、「選択」と「集中」による予算配分を行い、公共施設の老朽化対策・適正配置や民営化・指定管理者制度の活用など、町の活性化に資する事業を積極的に展開していく方針です。

こうした中、令和4年度の当初予算では、まずデジタル化の実現に向け、マイナンバーカードを利用したコンビニエンスストアでの証明書自動交付事業を進め、町民サービスの向上を図ります。事業者に対しては、キャッシュレス電子決済機器の導入に伴う補助事業に取り組みます。

また、グリーン社会の実現に向け、太陽光・蓄電池設置に伴う費用の助成を行う「住宅用再生可能エネルギー設備設置補助事業」に取り組みます。庁舎内においては、空調設備の改修、照明機器のLED化による脱炭素化を推進します。

少子化対策については、保育園に通う3歳以上児童の給食費の無償化、結婚に伴い新生活を送るために必要な費用の助成を行う「新婚新生活支援事業」など、結婚・出産がしやすい環境づくりに取り組みます。また、高校生に対して通学の移動手段の確保のひとつとして「養老鉄道高校生通学定期券助成事業」を行い経済負担の軽減と社会参加の促進、養老鉄道の支援にも取り組みます。

観光振興については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け非常に厳しいなか、ポストコロナに向けて霞間ヶ溪登山道や放棄茶園の景観維持管理を進めるほか、新型コロナウイルス感染症対応商工観光振興事業としてドライブインシアターの開催や温泉ガストロノミーウォーキングなどを実施し、コロナ対策を図りながら関係人口（交流人口）の増加、地域産業の活性化を目指します。

教育・社会体育関係については、小学生通学路の防犯対策として防犯カメラの設置を順次進めます。GIGA スクール構想の実現に向けプログラミング教育用教材を追加し、論理的思考や創造性、問題解決力の育成を図ります。また、学校施設では、温知小学校東門門扉取替修繕、中学校体育館暗幕レール交換工事、体育施設では、池田公園多目的広場の人工芝化、防球ネット整備を行い安心・安全・快適な施設管理に努めます。

3. 主な歳入歳出

歳入

名称	令和4年度	令和3年度	比較
町税	28億7,234万円	28億5,285万円	1,949万円
うち町県民税	12億3,030万円	12億1,772万円	1,258万円
うち固定資産税	14億5,981万円	14億6,089万円	△108万円
地方消費税交付金	5億800万円	5億1,000万円	△200万円
地方交付税	19億5,600万円	18億600万円	1億5,000万円
国庫支出金	7億9,741万円	7億91万円	9,650万円
うち負担金	6億4,287万円	6億1,987万円	2,300万円
うち補助金	1億4,958万円	7,610万円	7,348万円
寄附金	5億216万円	4億634万円	9,582万円
うちふるさと支援まちづくり寄付金	5億円	4億円	1億円
繰入金	3億9,721万円	3億705万円	9,016万円
うちふるさと支援まちづくり基金繰入金	1億円	6,000万円	4,000万円
諸収入	3億4,059万円	2億9,685万円	4,374万円
町債	7億3,540万円	7億1,290万円	2,250万円
合計	94億5,000万円	88億2,300万円	6億2,700万円

歳出

名称	令和4年度	令和3年度	比較
人件費	15億8,977万円	14億9,701万円	9,276万円
扶助費	12億8,145万円	13億2,611万円	△4,466万円
負担金補助及び交付金	14億3,647万円	14億3,203万円	444万円
うち負担金	13億7,784万円	13億4,720万円	3,064万円
うち補助金	5,863万円	8,483万円	△2,620万円
委託料	9億8,423万円	8億6,626万円	1億1,797万円
工事請負費	9億6,237万円	4億8,426万円	4億7,811万円
備品購入費	4,096万円	6,362万円	△2,266万円
公債費	8億4,829万円	7億9,047万円	5,782万円
積立金	2億6,390万円	2億1,121万円	5,269万円
繰出金	12億7,094万円	12億4,008万円	3,086万円
合計	94億5,000万円	88億2,300万円	6億2,700万円

4. 主要事業

☆…新規 ◎…拡充 ○…継続
□…SDGs(国連持続可能な開発目標)

(1) 活力あるまちづくり

☆新型コロナウイルスワクチン接種事業【73,042 千円】

町内医療機関及び薬剤師会等に依頼し、中央公民館で集団接種、町内医療機関で個別接種を実施します。

3回目追加接種者(2回接種完了者)

1・2回目接種者(12歳到達者等)



○防災メール活用事業【2,046 千円】

防災情報等を多くの住民に素早く伝達するため、戸別受信機(防災ラジオ)、メール、ライン、ホームページ等の複数配信メディアに対し、一斉に情報配信するシステムを活用します。



☆公共施設等管理事業【281,228 千円】

公共施設等の長寿命化を目的に庁舎受変電設備及び空調設備改修工事を行います。



☆脱炭素化推進事業【10,000 千円】

脱炭素化を目的に庁舎照明のLED取替工事を行います。



☆地域脱炭素移行・再エネ推進事業【10,000 千円】

グリーン社会の実現に向け、住宅用太陽光・蓄電池設置に伴う費用に対して「池田町住宅用再生可能エネルギー設備設置補助金」を助成します。

太陽光 7万円/kW 上限5kW、蓄電池 5万5千円/kW 上限5kW



☆園児給食費無償化事業【17,280 千円】

子育て支援施策として、3歳以上の園児の給食費(主食費・副食費)を無償化します。

360人×4,000円×12ヶ月



○多子世帯保育料無料化事業【7,302 千円】

子育て支援施策として、18歳以下の児童のうちで第3子目以降の児童に対する保育料の無料化を実施します。



○母子保健事業【14,004 千円】

家族等から十分な育児等の支援が得られず、心身の不調や育児不安等を抱える出産後1年以内の母子を対象に助産師による訪問で心身のケアや育児サポート等を実施し、母子とその家族が健やかに生活できるよう支援を行う「産後ケア事業」を実施する。また、妊婦1人あたり14回分の妊婦健診受診票(補助券)に加え、産後2週間目と1か月後の出産後間もない時期の産婦を対象に産婦健診受診票(補助券)を2回分交付し、定期的な受診を勧めます。

◎すくすく赤ちゃん券助成事業【3,140千円】



子育て支援施策として、出生届時におむつ・ミルク等の購入代として「すくすく赤ちゃん券」を第1子目には2万円分、第2子目には3万円分、第3子目以降は、4万円分と、「おむつ用 ゴミ袋 30枚」を交付します。

◎子育て就労応援事業【1,487千円】



平成30年に開設した子育て就労応援センターで、大垣ハローワークと連携し、ハローワーク出張相談を行います。また、育児や家事をしながら再就職を考えている母を応援するため、町内企業と連携し、講座やキャリアカウンセリングなどを企画し、出産後も安心して暮らし、働くことができるまちづくりを目指します。

◎子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業【2,871千円】



任意予防接種のうち、毎年接種を受ける必要があるインフルエンザについて生後6か月から中学3年生を対象に接種にかかる費用を一部助成し、感染症予防を推進するとともに、経済的負担の軽減及び子育て支援体制の充実を図っていきます。

◎危険空家等除却費補助事業【600千円】



建物の基礎や外壁、屋根等が破損し、倒壊等の危険がある住宅及び倉庫等のうち、危険空家と認定された建物の除却に要した費用の一部について、1件あたり30万円を上限に助成します。

◎ブロック塀等撤去費補助金交付事業【700千円】



地震など災害によるブロック塀等の倒壊事故被害を防止し、安全なまちづくりを推進するため、道路に面したブロック塀等の撤去を行う場合に、1件当たり10万円を上限に補助金を交付し、ブロック塀等の撤去費用の一部を助成します。

◎移住定住推進事業【2,635千円】



町内への移住を推進するため、移住希望者を対象に町内を個別案内し、移住促進を図ります。また、子育て世代の移住・定住を増やし、併せて町内にある空き家の活用を図るため、空き家を取得し、改修を行う費用の一部を助成するほか、固定資産税の免除を行うとともに東京圏からの移住・就業を後押しするため、移住支援金の給付を行います。

◎まちづくり工房事業【3,274千円】



まちづくり拠点「まちづくり工房 霞溪舎」を中心とした町民参加のまちづくりを推進し、その施設を引き続き指定管理により運営を行います。

◎外国人文化交流事業【625千円】



町内企業に勤めている外国人就労者のために日本語・日本文化・生活習慣の指導、就労者同士の交流の場の提供を行い、外国人との共生を目指します。

○町の人財を活かした地域コミュニティの活性化事業 【674 千円】



池田町内のいろいろな技術、能力を持った達人を発掘し、その方々から学び、体験するプログラム・講座を開催することで学校・職場・自治会以外の人とつながる機会をつくり、多世代間交流が行えるようにします。

◎ふるさと納税推進事業 【500,000 千円】



池田町を応援していただくための啓発等を行い、特産品等の返礼を準備し、併せて町のPRを行って、ふるさと納税推進を図ります。

○工場等設置奨励事業 【15,670 千円】



産業の振興と雇用の拡大を図るため、企業の立地促進を目的に奨励措置を設けます。

(2)観光関連事業

◎大津谷公園キャンプ場有料化実証実験事業 【5,478 千円】



町の観光施設である大津谷公園キャンプ場の管理について、実証実験を引き続き行います。また、家族連れが楽しめるスペースやイベントを提供し交流人口の増加、地域振興を目指します。

◎森林空間活用促進事業 【7,006 千円】



清流の国ぎふ森林環境税を活用して、霞間ヶ溪登山道に看板、ベンチ等を整備し、観光客の増加を目指します。

◎新型コロナウイルス感染症対応商工観光振興事業 【1,650 千円】



新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、ドライブインシアターを新聞社と開催し、県内外から広く呼び込み、町内飲食店の出店を拡充し、活性化を図ります。

☆温泉ガストロミー推進事業 【1,900 千円】



池田町の自然や歴史を感じながら「めぐって」、池田町の美味しいもの・お酒を「食べて（飲んで）」、そしてウォーキングの後には全国的にも珍しい純重曹のつるつる温泉に「つかって」を体験できる、満足度90%以上の滞在型・体験型イベントです。この ONSEN ガストロミーイベントをきっかけに、地域観光資源の活性化のみならず、地域の交流と、新たな観光資源の発掘を行います。

☆電子決済システム導入事業 【1,000 千円】



商工振興、コロナ対策を目的に事業者のキャッシュレス電子決済機器の導入費用に対して補助金(1件:2万円)を支給します。



☆茶業振興事業【3,793 千円】

池田山山麓の荒廃茶園の管理に対して放棄茶園維持管理補助金を支給し、茶園の景観維持に努めます。



☆林業労働力確保対策事業【1,000 千円】

東京圏からの林業就業移住者に対して1世帯あたり100万円の補助金を支給します。



☆森林環境整備事業【7,163 千円】

森林環境譲与金を活用して、森林経営管理制度による意向調査、地図情報システムデータの更新、池田山景観整備などを実施し、里山林整備業に取り組み、森林整備の推進を目指します。



○池田・揖斐川レンタサイクル推進協議会負担金【1,300 千円】

養老線の利用促進と広域観光推進のため、レンタサイクル事業を引き続き行います。



○町マスコットキャラクター「ちゃちゃまる」事業【597 千円】

池田町の活性化とPR活動の充実のため、誰からも親しまれ愛されるマスコットキャラクターになるよう努め、HPや各種イベントなどに活用します。

(3)教育関連事業



☆通学路防犯カメラ設置事業【869 千円】

小学生通学路の防犯対策として防犯カメラの設置を順次進めます。



☆学校安全総合支援事業【1,300 千円】

岐阜県の事業を受託し、学校防災について地域と連携し計画を策定します。



○小学6年生、中学3年生に対する学校給食費の無償化【25,933 千円】

学校給食費の無償化を令和2年度から小学6年生、令和3年度から中学3年生を対象とし、来年度の進学に備えた子育て世代の経済的負担を軽減します。



○池田町大野町学校給食センター協議会運営費【98,332 千円】

池田町大野町学校給食センター協議会へ負担金を支出し、池田町及び大野町内で給食事業を行います。



◎GIGA スクール支援・プログラミング教育事業【4,970 千円】

GIGA スクール構想の実現に向け技術サポーターを委託し、小中学生を対象に ICT 教育支援及びプログラミング教育を行います。

◎特別支援教育支援事業 【31,135 千円】



学習や学校生活において特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学級に対して、指導助手として、特別支援学級に支援員、通常学級にアシスタントを町独自で配置し、誰もが安心して学べる環境を整えます。

支援員 配置校:温知小2人、八幡小2人、池田小2人、池田中3人

アシスタント 配置校:温知小8人、八幡小4人、宮地小3人、池田小3人

○少人数学級指導支援事業 【6,305 千円】



一定数以上(30人以上)の学級を対象に、町単独で講師を配置し、学習集団を1学級増やして、よりきめ細やかな少人数指導を行います。

対象校:温知小2人、八幡小3人

○英語活動支援事業 【5,464 千円】



ALT(Assistant Language Teacher)のほか、町独自に講師を3人配置し、小中学校における英語授業の充実を図ります。

○池田町版体験キャリア教育事業 【3,744 千円】



キャリア教育コーディネーター2名が、池田町の教育について現場教師とともに新たな職場体験のあり方やキャリア教育プログラムについて考え、子ども達が地元でいきいきと働く大人に触れる仕組みを作り、地元を知る喜びや町への愛着を育むことを目指します。

また未来の池田町を担う中学生と池田高校生に対して英検や漢検等の資格取得に対して助成を行うことで、社会で活躍する土台形成を図ります。

☆池田公園芝生化整備事業 【181,929 千円】



池田公園多目的グラウンドの人工芝生化(4,750 m²)、防球ネット等整備を行い安心・安全・快適な施設管理に努めます。

(4)生活基盤関連事業

☆養老鉄道高校生通学定期券助成事業 【7,500 千円】



高校生に対して通学の移動手段の確保のひとつとして通学定期券の助成を行い、経済負担の軽減と社会参加の促進、養老線の支援にも取り組みます。

○移動手段確保対策事業 【1,000 千円】



65才以上の方を対象に養老線マイレールチケット21(回数券)を販売定価の1割助成します。

なお、妊娠中の方にはマイレールチケット21(回数券)を1回無料配布します。また自動車運転免許返納者へは、2年間で4回まで無料配布します。

○**養老線管理機構関連事業 【125,390 千円】**



一般社団法人養老線管理機構へ負担金(103,710 千円)と補助金(21,680 千円)を支払い養老線を支援します。

○**コミュニティバスの継続運行 【12,475 千円】**



コミュニティバスの継続運行を行い、町内の安全な移動手段を基本とし利用者の増加と利便性の向上を図るため、マイクロバス1台、ワゴン車2台で4路線、31便/日を運行します。
(令和3年度利用者数は、8,825 人) (1月末日現在)

○**タクシー利用助成事業 【3,253 千円】**



運転免許証を所有していない高齢者や障害者に対して経済負担の軽減と社会参加促進を促すため、タクシー利用1乗車につき500円、1年間で18,000円上限の助成を行います。
(令和3年度申請者数は、243 人) (7月から1月末日現在)

○**単身の高齢者、障害者世帯に対するごみ出し支援事業 【360 千円】**



自ら家庭ごみをごみステーションに出すことが困難な、単身の要介護者や障害者などに対して事業者の戸別訪問によるごみ収集、または地域の協力者によるごみ出しに対する支援を行います。

◎**敬老の日記念事業 【6,196 千円】**



88歳の方を対象とした長寿お祝い式典の開催、79歳以上の方を対象とした記念品の配布を実施します。

○**福祉医療扶助事業 【213,231千円】**



子どもの医療費を無料化にすることで、子どもを持つ世帯は平等に医者にかかることができ、子どもの病気の重篤化を防ぐことができます。

	対象(人)	予算額(千円)
乳幼児扶助	1,027	34,234
児童・生徒扶助	2,099	63,109
高校生等扶助	703	22,748

○**病児・病後児保育事業 【7,079 千円】**



子どもが病気にも関わらず、仕事や冠婚葬祭等により家庭で看護ができない保護者に代わり一時的に児童を預かります。3人以上子どもがいる世帯の利用は無料とします。

○**放課後児童クラブ事業 【35,375 千円】**



仕事などの事情により、昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や夏休み等の長期休暇中、保護者に代わり、適切な遊びや生活の場を小学校毎に開設します。(利用予定者数:207 人、対象児童は小学校6年生まで)

☆公民館空調機整備事業 【10,827 千円】



新型コロナウイルス感染防止を目的として、中央公民館及び東公民館の空調機を更新します。

○社会基盤施設管理事業 【18,800 千円】



公共施設等適正管理推進事業

対象となる道路の長寿命化を推進します。

池野市街地線排水路防音対策 L=195m

○社会資本整備総合交付金事業 地域基盤整備工事 【54,000 千円】



道路舗装 2路線

藤代・八幡 31,000 千円

上八幡 23,000 千円

○道路改良工事 【36,700 千円】



町道アスファルト舗装工事

下八幡 58 号線 10,200 千円

北部地区 6,000 千円

道路改良工事

舟子1号線ほか2路線 20,500 千円

◎緊急浚渫推進事業 【96,800 千円】



減災対策の一環として、河川内の樹木の除去及び堆積土砂の浚渫を順次実施します。

○里山林整備事業 【13,420 千円】



野生鳥獣による被害の軽減など、地域住民の生活環境の保全や生物多様性の保全を図るため、霞間ヶ溪登山道既存施設の改修、ふれあい街道沿いの倒木の危険性の高い高木の伐採、鳥獣被害対策を行います。

○農作物野生獣被害防止対策事業 【4,233 千円】



山林のふもと付近に住みついたシカやイノシシなどが、農作物に被害を与え農家の経営に影響を及ぼしていることから、除草などによって野生獣の「すみか」を解消し、農作物被害の抑制を図ります。

☆個人番号カードでのコンビニ交付システム導入事業 【23,959 千円】



住民の利便性の向上と行政の効率化を図るため、交付システムを導入し、コンビニエンスストアでの8種類の証明書(住民票・戸籍証明・印鑑証明・税証明)の取得を可能にします。また、マイナンバーカードの普及促進を行います。